



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年11月14日

上場会社名 三櫻工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6584 URL http://www.sanoh.com/
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 竹田 玄哉
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 長谷川 貴之 TEL 03-5793-8411
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日 配当支払開始予定日 平成29年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	68,349	3.7	2,997	△20.6	3,149	43.2	1,963	169.5
29年3月期第2四半期	65,915	3.4	3,776	28.2	2,200	△9.8	728	△32.3

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 3,862百万円 (-%) 29年3月期第2四半期 △3,432百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	53.93	—
29年3月期第2四半期	20.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	110,268	38,778	32.7	990.87
29年3月期	104,219	35,581	31.9	914.71

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 36,063百万円 29年3月期 33,291百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00
30年3月期	—	12.50	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	138,000	3.1	5,700	△5.1	5,600	3.9	2,000	86.3	54.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	37,112,000株	29年3月期	37,112,000株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	716,473株	29年3月期	716,377株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	36,395,564株	29年3月期2Q	36,395,704株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想については、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び注意事項については、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	10
3. その他	12
継続企業の前提に関する重要事象等	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢の改善を背景に個人消費も堅調に推移し、設備投資や輸出が持ち直すなど、景気は着実な回復基調が続きました。

海外において、米国では、労働市場の回復を背景にした個人消費の底堅い成長が持続し、景気は緩やかな拡大が持続しました。欧州は個人消費が牽引役を果たし、外需も輸出の伸びが輸入の伸びを上回ったことが成長の押し上げ要因となりました。中国は個人消費と輸出は堅調に推移し、各種政策効果により景気に持ち直しの動きがみられ、アジアでは、個人消費を中心に内需が底堅さを維持し、総じて緩やかな景気回復が続いております。

このような環境のなか、当第2四半期連結累計期間の業績は、欧州の業績回復を北南米・日本の減益が上回った結果、売上高は683億49百万円（前年同期比3.7%増）、営業利益は29億97百万円（前年同期比20.6%減）と増収、減益となりました。一方、前期と比べ為替レートが安定して推移した結果、為替差損は大幅に減少し、減損損失等の非経常的な費用が発生しなかったことにより、経常利益は31億49百万円（前年同期比43.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は19億63百万円（前年同期比169.5%増）と増益となりました。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

① 日本

売上高168億29百万円（前年同期比0.1%増）と前期水準を維持しましたが、営業利益は主に緊急輸送費や品質関連費用等のコストの増加により、2億59百万円（前年同期比61.1%減）と減益となりました。

② 北南米

北米における自動車販売台数の拡大には陰りが見えるものの、当社客先における生産・販売台数の増加等により、売上高は231億78百万円（前年同期比2.0%増）となりました。一方営業利益は米国子会社においてスクラップ費用及び輸送費の増加に加え、人件費等の固定費も増加したことにより16億16百万円（前年同期比34.7%減）と減益となりました。

③ 欧州

ドイツ子会社における売上の増加により、売上高は119億56百万円（前年同期比7.7%増）となりました。またドイツ子会社における外注加工費等の変動費の減少に加えロシア子会社の復調及びイギリス子会社が引き続き好調に推移したことも寄与し、営業損失は28百万円（前年は6億円の営業損失）となりましたが、赤字幅は大幅に縮小いたしました。

④ 中国

客先生産台数の増加により、売上高は64億66百万円（前年同期比7.0%増）と増収となりましたが、生産高増加に伴う人件費の増加及び工程効率化のためのコストが先行して発生したことが影響し、営業利益は1億84百万円（前年同期比53.2%減）と減益となりました。

⑤ アジア

各日系メーカーの生産量増大によりタイ及びインドの子会社の売上が寄与し、売上高は99億20百万円（前年同期比7.5%増）、営業利益は10億32百万円（前年同期比19.7%増）と増収、増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末の総資産は1,102億68百万円となり、前連結会計年度末に比べて60億48百万円増加しました。主な要因は現金及び預金の増加24億29百万円、仕掛品の増加11億41百万円、有形固定資産の増加23億19百万円、投資有価証券の増加7億75百万円、製品の減少2億87百万円及び原材料及び貯蔵品の減少3億66百万円等でありま

す。負債合計は714億89百万円となり、前連結会計年度末に比べて28億51百万円増加しました。主な要因は短期借入金

の増加15億69百万円及び長期借入金の増加11億89百万円等であります。純資産は387億78百万円となり、前連結会計年度末に比べて31億97百万円増加しました。主な要因はその他有価証券評価差額金の増加5億36百万円、為替換算調整勘定の増加5億91百万円、退職給付に係る調整累計額の増加3億82百万円、利益剰余金の増加15億26百万円等であります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、営業活動により51億36百万円増加、投資活動により53億46百万円減少、財務活動により24億26百万円増加などの結果、当第2四半期連結会計期間末には143億53百万円（前連結会計年度末比24億29百万円増）となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られたキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が30億84百万円（前年同期は16億77百万円）、減価償却費が27億37百万円（前年同期は25億58百万円）、売上債権の減少による資金増が5億62百万円（前年同期は13億75百万円の資金減）、たな卸資産の増加による資金減が1億46百万円（前年同期は12億90百万円の資金減）、仕入債務の増加による資金増が6億11百万円（前年同期は26億11百万円の資金増）、法人税等の支払による資金減が14億29百万円（前年同期は10億78百万円の資金減）あったことなどにより、前年同期と比較して、8億48百万円減少して、51億36百万円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用されたキャッシュ・フローは、自動車部品事業を中心とした有形固定資産の取得による支出51億69百万円（前年同期は39億28百万円の支出）等により、前年同期と比較して、15億10百万円増加して、53億46百万円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により得られたキャッシュ・フローは、借入金の純増加による収入30億91百万円（前年同期は8億47百万円の支出）、配当金の支払による支出4億37百万円（前年同期は4億37百万円の支出）等により、24億26百万円となりました（前年同期は13億32百万円の支出）。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想について、平成29年5月12日の「平成29年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました通期の業績予想数値に変更ございません。

なお、平成29年8月7日に公表しました「当社グループ製品搭載車種の市場回収処置（リコール）について」に関する当社グループが負担する補修費用の最終的な負担額は現時点において確定しておりません。今後、算定が可能な状態となり次第、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,924	14,353
受取手形及び売掛金	18,967	18,597
電子記録債権	594	504
製品	3,899	3,612
仕掛品	5,936	7,077
原材料及び貯蔵品	10,538	10,173
繰延税金資産	919	925
その他	2,247	2,924
貸倒引当金	△136	△127
流動資産合計	54,889	58,037
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	16,243	16,347
機械装置及び運搬具	60,351	62,039
工具、器具及び備品	10,828	11,071
土地	3,983	4,004
リース資産	769	1,003
建設仮勘定	4,138	5,759
減価償却累計額	△60,249	△61,963
減損損失累計額	△3,377	△3,254
有形固定資産合計	32,686	35,006
無形固定資産		
のれん	509	501
リース資産	28	23
その他	705	659
無形固定資産合計	1,242	1,182
投資その他の資産		
投資有価証券	9,293	10,069
長期貸付金	7	5
繰延税金資産	5,504	5,113
その他	597	856
投資その他の資産合計	15,402	16,042
固定資産合計	49,330	52,230
資産合計	104,219	110,268

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,168	10,662
電子記録債務	4,134	4,282
短期借入金	12,543	14,112
未払金	2,168	2,021
リース債務	116	143
未払法人税等	1,060	433
未払消費税等	353	446
賞与引当金	1,081	1,207
役員賞与引当金	23	19
製品保証引当金	818	359
その他	3,720	4,391
流動負債合計	36,185	38,075
固定負債		
長期借入金	10,395	11,584
リース債務	214	370
繰延税金負債	114	113
役員退職慰労引当金	174	174
退職給付に係る負債	21,043	20,867
その他	514	305
固定負債合計	32,453	33,414
負債合計	68,638	71,489
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,481	3,481
資本剰余金	2,628	2,365
利益剰余金	31,032	32,558
自己株式	△477	△477
株主資本合計	36,663	37,927
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,995	4,531
為替換算調整勘定	△3,044	△2,453
退職給付に係る調整累計額	△4,323	△3,942
その他の包括利益累計額合計	△3,372	△1,863
非支配株主持分	2,290	2,715
純資産合計	35,581	38,778
負債純資産合計	104,219	110,268

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	65,915	68,349
売上原価	55,374	58,248
売上総利益	10,541	10,101
販売費及び一般管理費	6,765	7,104
営業利益	3,776	2,997
営業外収益		
受取利息	22	26
受取配当金	96	107
為替差益	—	192
その他	60	82
営業外収益合計	178	408
営業外費用		
支払利息	178	182
為替差損	1,512	—
その他	64	74
営業外費用合計	1,754	257
経常利益	2,200	3,149
特別利益		
固定資産売却益	10	19
特別利益合計	10	19
特別損失		
固定資産売却損	6	6
固定資産除却損	37	79
減損損失	489	—
特別損失合計	532	85
税金等調整前四半期純利益	1,677	3,084
法人税、住民税及び事業税	1,063	787
法人税等調整額	△396	3
法人税等合計	667	790
四半期純利益	1,010	2,294
非支配株主に帰属する四半期純利益	282	331
親会社株主に帰属する四半期純利益	728	1,963

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	1,010	2,294
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△22	536
為替換算調整勘定	△4,881	650
退職給付に係る調整額	461	382
その他の包括利益合計	△4,441	1,567
四半期包括利益	△3,432	3,862
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,404	3,472
非支配株主に係る四半期包括利益	△28	390

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,677	3,084
のれん償却額	36	29
減損損失	489	—
減価償却費	2,558	2,737
有形固定資産売却損益(△は益)	△4	△13
有形固定資産除却損	37	79
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	613	236
受取利息及び受取配当金	△118	△134
支払利息	178	182
売上債権の増減額(△は増加)	△1,375	562
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,290	△146
仕入債務の増減額(△は減少)	2,611	611
賞与引当金の増減額(△は減少)	210	119
未払金の増減額(△は減少)	71	△155
未払費用の増減額(△は減少)	604	193
その他	834	△756
小計	7,133	6,629
利息及び配当金の受取額	159	134
利息の支払額	△231	△198
法人税等の支払額	△1,078	△1,429
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,984	5,136
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,928	△5,169
有形固定資産の売却による収入	202	86
投資有価証券の取得による支出	△121	△13
その他	12	△250
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,835	△5,346
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△261	2,122
長期借入れによる収入	1,000	2,381
長期借入金の返済による支出	△1,586	△1,412
配当金の支払額	△437	△437
非支配株主への配当金の支払額	△48	△145
連結の範囲の変更を伴わない子会社出資金の取得による支出	—	△82
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,332	2,426
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,151	213
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△334	2,429
現金及び現金同等物の期首残高	13,015	11,924
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,681	14,353

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	北南米	欧州	中国	アジア	計		
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	16,816	22,733	11,097	6,040	9,228	65,915	—	65,915
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	8,475	121	68	1,104	243	10,011	△10,011	—
計	25,291	22,855	11,164	7,145	9,472	75,926	△10,011	65,915
セグメント利益 又は損失(△)	664	2,475	△600	393	862	3,795	△20	3,776

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額△10,011百万円は、セグメント間取引消去の金額であります。

(2) セグメント利益又は損失(△)の調整額△20百万円には、のれんの償却額△36百万円、顧客関連資産の償却額△51百万円およびたな卸資産等の調整額68百万円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」セグメントにおいて487百万円、「中国」セグメントにおいて2百万円の減損損失を計上しております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	北南米	欧州	中国	アジア	計		
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	16,829	23,178	11,956	6,466	9,920	68,349	—	68,349
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	8,916	315	85	909	336	10,561	△10,561	—
計	25,745	23,493	12,041	7,375	10,256	78,909	△10,561	68,349
セグメント利益 又は損失(△)	259	1,616	△28	184	1,032	3,062	△65	2,997

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額△10,561百万円は、セグメント間取引消去の金額であります。

(2) セグメント利益又は損失(△)の調整額△65百万円には、のれんの償却額△29百万円、顧客関連資産の償却額△50百万円、技術関連資産の償却額△5百万円、貸倒引当金繰入の取消額29百万円、たな卸資産の調整額△76百万円及び固定資産に係る調整額66百万円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。